



こんにちは

日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです！

2025年

8.24

No.1106



安倍内閣が敷いたレールを変えよう

数日間のお盆休みをいただきました。父と夫、息子と孫たちの4世代で母と義父のお参りに行ってきました。他の日には庭の草取りをし、桜の葉に付いた毛虫の駆除もしました。気になっていたことが片付き、スッキリした気持ちでお盆後の仕事を開始させています。

19日の朝日新聞の社説に『森友と財務省』という見出しがありました。忘れもしないあの事件を取り上げ、隠ぺい体質を一掃するよう呼びかけています。

森友事件では赤木俊夫さんが自死し、妻の雅子さんが関連文書を開示するよう求めた訴えを裁判所が認め、開示が始まっています。

問題の発端は、9億円を超える国有地を約1億円で売却したことでした。そのやり取りを明確に記した公文書の隠ぺい・改ざんが行われたのは、「私や妻が関係していれば首相も国会議員も辞める」との安倍元首相の発言に対する“忖度”でした。一人の尊い命を奪ったのに、“忖度”は流行語大

賞に選ばれました。

別の記事には、26年度の防衛予算を8.8兆円とする方針だと報じています。過去最高額だった今年度を上回ります。ウクライナで活用されたことを踏まえ、多くの命を奪ったドローンなどの無人機の早期の取得が重要だといいます。終戦記念日に首相は、13年振りに「戦争の反省」に言及し、恒久平和の実現を約束しました。この言葉は嘘だったようです。

今年2月、石破首相はトランプ大統領と会談をし、「抜本的に防衛力を強化していく」と約束しています。その背景について、日米首脳共同声明で「2015年の安保制度の制定によって可能になった」と記しています。安保法制をつくったのも、安倍元首相です。

“忖度”と私物化で政治を歪めたうえ、戦争に道を開く安保法制で湯水のように予算が注がれます。そのうえ、裏金問題に蓋をしたまま、裏金議員が中心に「石破おろし」を展開しています。自民党内からは「旧安倍派復権と怨念の石破おろしだ」との声もあり、ゾッとします。

しかしみなさん、衆議院でも参議院でも自民党は少数派になりました。これが民意であり、国民の多数は政治を変えようと声をあげています。これまでの政治を振り返ることで、政治を変える重要性をいっそう感じます。